

介護する家族を応援します

デイ・サービスセンター 皇月園5月末オープン



「私たちがお世話します」 燕市で研修中の専任スタッフの皆さん

市では、デイ・サービスセンター皇月園の五月末オープンに向けて準備を進めています。デイ・サービスセンターでは、在宅の寝たきりに近い人や体の弱い人を対象に、入浴やリハビリなどのサービスを行います。オープン間近なデイ・サービスセンターの事業内容をお知らせします。

6人の専任スタッフが お世話します

デイ・サービスセンターは、老人福祉センター（白寿荘）に隣接し設置され、事業の運営は、市社会福祉協議会が行います。建物は、鉄筋コンクリート平屋建て、二百二十平方メートル、入浴室と食堂（静養室、リハビリ訓練室兼用）、調理場があります。サービスには、看護婦、調理員を含め6人の専任スタッフが当たります。

6人の専任スタッフは、オープンまで燕市のデイ・サービスセンター福寿園で研修を受けています。四月十日に取材でお邪魔したときにも、早く仕事に慣

れようと一生懸命でした。

家庭で介護する 家族を応援

デイ・サービスセンターは、家庭で生活しているおむね六十五歳以上の体の弱い人や、軽い痴呆や障害を持つ人、寝たきりに近い人を一日預かり、入浴や食事のサービスを行います。これらのサービスを行うことによって、利用するお年寄りに、孤立感が和らぎ、心身機能の維持向上に意欲を持つことが期待されます。また、家庭で介護している家族にとっても、負担が軽減されることとなります。

利用する人は 福祉事務所へ登録

デイ・サービスセンターでは、次の事業を行います。

- 開設日 月曜日・土曜日 午前九時～午後四時（土曜日は午前十一時三十分まで） 日曜・祝祭日、年末年始は休みます
- 利用人員 一日約十五人
- 利用料 給食サービス二百

三十円（一回当たり） 入浴サービス五百八十円（一回当たり） 送迎を含めその他のサービスは無料です

□利用申し込み 利用希望者は、あらかじめ利用登録をさせていただきます。利用は、希望日を調整し連絡します。利用登録は、福祉事務所高齢福祉係（☎373・2111②261）へどうぞ

□サービスの主な内容
〈送迎〉 要望に応じリフトバスで、利用者の体力や障害の程度を考慮しながら、家庭とセンターとの間を安全に送迎します。
〈健康チェック〉 看護婦が血圧などをチェックし、健康状態を把握して事故防止に努めます。
〈日常動作訓練〉 利用者の生活環境や能力に応じ、日常動作訓練を行い機能維持を図ります。
〈給食〉 栄養や嗜好を考慮した食事を提供し、みんなで楽しく昼食をいただきます。

〈入浴〉 家庭での入浴が困難な人に、状態に応じて安全に入浴していただきます。
〈生活指導・介護〉 デイ・サービスセンターは家庭の延長です。利用者が楽しく過ごせるように、各種行事や趣味活動の計画を立ててお世話します。
〈家庭介護教室〉 利用者の家族や一般の在宅介護者を対象に、介護に必要な知識、技術などの講座を開きます。

コメ輸入自由化反対を農振大会で宣言



宣言文を読み上げる滝沢市長

市は、三月二十六日「コメ輸入自由化反対宣言」を行いました。これは、白根市農協で行われた「平成二年度市農業振興大会」の席上、宣言したもので、米輸入自由化反対の自治体宣言をしたのは、県内二十市の中では初めてとなります。

米市場開放問題は、ガット（関税貿易一般協定）のウルグアイラウンド農業交渉の重要課題となっており、決着を目指し五月から交渉が再開される予定です。滝沢市長は宣言に当たって「米は本市農業の基幹作物で、食糧法を守るため、苦しい中で生産

活用され喜ばれる制度に 有志指導者研修会

有志指導者研修会が三月十六日、青年教育センターで行われ、有志指導者として応募・推薦された人や生涯学習関係者など三十八人が出席しました。有志指導者派遣制度は、生涯学習の一環として、市民の皆さんがいつでも「どこでも」「だれでも」気軽に学習できるよう、指導者の発掘と研修、指導者と学習者の仲介、情報の提供などを行うものです。

研修会に先立って、趣味・け

いこと、スポーツなど各分野の有志指導者代表に滝沢市長が委嘱状を交付。委嘱された三年度の有志指導者は五十九人です。滝沢市長はあいさつの中で「この制度は、優れた知識・技能と意欲の持ち主の発掘を目指したものです。応募者の顔触れを見ますと、素晴らしい白根の財産、宝物を見つけた思いがする。この制度は、人づくり、地域づくりに大きく貢献するものと期待している」と有志指導者を激励

した。

コメ輸入自由化反対宣言

本市は、食糧総合生産基地であり、コメは基幹産業として重要な地位を占め、歴史的にも本市の社会経済の中心的作用を果たしてまいりました。稲作は我が国の伝統的農耕文化を培い、国土の保全・自然環境に対して大きな役割を担っています。

ガットの農業問題交渉は期限をさらに延長して、アメリカ・ケアンズグループが我が国に対して、コメの自由化を迫り早期決着を求めていることは極めて遺憾であります。

いま、ここに国民の主食であるコメの自由化を行えば、本市稲作経営は壊滅的打撃を受けることは必至であり、地域経済に及ぼす影響は極めて大きく、農村社会の崩壊につながりかねません。

よって本市は、コメの国内自給政策の堅守、食糧安全保障の確立、食糧制度の維持を通じて、米穀政策の確立を念願し、ここにコメの輸入自由化反対を宣言する。

平成三年三月二十六日
白根市



有志指導者へ委嘱状を交付

意欲満々。「活用され、喜ばれる派遣制度」を目指した今後の活動が期待されます。